

設定変更方法資料

最終更新日：2019-04-22

2. 管理画面のURLを変更する方法

管理画面にログインし、システム設定＞管理画面設定へ進んでください。

「ディレクトリ名」を推測されにくい文字列へ変更してください。

EC-CUBE ログイン：管理者様、最終ログイン日時：2019/04/08 14:49 SITE CHECK LOGOUT

基本情報管理 商品管理 会員管理 受注管理 売上集計 メルマガ管理 コンテンツ管理 デザイン管理 システム設定 オーナーズストア

システム設定＞管理画面設定

間違った設定を適用すると管理画面にアクセス出来なくなる可能性があります。
良く解らない場合はこの設定は変更しないでください。

管理機能設定

ディレクトリ名 /eccube/html/admin /

SSL制限 SSLを強制する。

IP制限

「ディレクトリ名」を、
推測されにくい文字列に変更してください

(上限3000文字)

※管理機能へのアクセスを特定のIPアドレスからの接続のみに制限します。
アクセスを許可するIPアドレスを1行ずつ入力してください。何も入力しない場合は全てを許可します。

この内容で登録する

3. 管理画面へのアクセス制限

3-1. IP制限を設定する方法

管理画面にログインし、システム設定 > 管理画面設定へ進んでください。

「IP制限」に、IPアドレスを入力してください。

EC-CUBE ログイン: 管理者様, 最終ログイン日時: 2019/04/08 14:49 SITE CHECK LOGOUT

基本情報管理 商品管理 会員管理 受注管理 売上集計 メルマガ管理 コンテンツ管理 デザイン管理 システム設定 オーナーズストア

システム設定 > 管理画面設定

間違った設定を適用すると管理画面にアクセス出来なくなる可能性があります。良く解らない場合はこの設定は変更しないでください。

管理機能設定

ディレクトリ名	/eccube/html/admin /
SSL制限	<input type="checkbox"/> SSLを強制する。
IP制限	<div style="border: 1px solid gray; height: 100px;"></div> <p style="text-align: right;">(上限3000文字)</p> <p>※管理機能へのアクセスを特定のIPアドレスからの接続のみに制限します。アクセスを許可するIPアドレスを1行づつ入力してください。何も入力しない場合は全てを許可します。</p>

「IP制限」に、
アクセスを許可するIPアドレスを入力してください。

3-2. Basic認証を設定する方法

何らかの事情で管理画面をIP制限することができないなどの場合にBasic認証を行うことで多少なりセキュリティを強化することができます。

1. httpasswdファイルの作成

SSHを利用してサーバーに接続できる場合は、サーバーに接続後、以下のコマンドで、.httpasswdファイルを生成します。[user name] [password] はご自身でご希望のものを設定していただけます。簡単に推測されることの無いパスワードを設定してください。

参考) [安全なパスワード管理 \(総務省\)](#)

```
> httpasswd -c -b .httpasswd [user name] [password]
```

コマンド実行後、.htpasswdファイルが生成されます。

2 .htaccessファイルの作成

以下の内容を.htaccessというファイル名で保存します。

```
=====  
AuthType Basic  
AuthName "Please input UserName and Password."  
AuthUserFile [.htpasswdの設置先へのフルパス]  
Require valid-user  
=====
```

AuthUserFile の項目は、.htpasswdの設置先をフルパスで記載します。

[ec-cube設置ディレクトリ] を /var/www/ec-cube として、.htpasswdを[ec-cube設置ディレクトリ] 直下に設置した場合は以下のように記載します。

```
/var/www/ec-cube/.htpasswd
```

3 .htaccessの管理画面ディレクトリへの配置

[ec-cube設置ディレクトリ]/html/[管理画面のディレクトリ名]に、作成した.htpasswd/.htaccessを保存します。

[ec-cube設置ディレクトリ]が /var/www/ec-cube、[管理画面のディレクトリ名]が **adminCdhiw7Gd**の場合は、以下のように記載します。

```
/var/www/ec-cube/html/adminCdhiw7Gd/.htaccess
```

ブラウザで管理画面にアクセスし、Basic認証のダイアログが表示されることを確認してください。

4. data ディレクトリへのアクセスを拒否する方法

ブラウザで[ec-cubeのURL]/dataなどでdataディレクトリが公開されてしまっている場合の対処方法です。

1 .htaccessファイルの作成

以下の内容を.htaccessというファイル名で保存します。

```
=====  
order allow,deny  
deny from all  
=====  
  
/var/www/ec-cube/.htaccess
```

2 dataディレクトリへの配置

[ec-cube設置ディレクトリ]/data/に、作成した.htaccessを保存します。

[ec-cube設置ディレクトリ]が /var/www/ec-cubeの場合は、以下のように記載します。

```
/var/www/ec-cube/data/.htaccess
```

ブラウザで[ec-cubeのURL]/dataなどでアクセスできない事を御確認ください。

※ [2.13.0以降は同様の設定がデフォルトで行われています](#)があわせてサーバーの設定によりアクセスできることがありますので、アクセスができないことを必ずご確認ください。